

興道

休まず 心をこめ 力をあわせて やりとげよう

夢・チャレンジ!



浦庄小学校校長室だより
令和4年7月20日発行

カラー版は学校WEBページをご覧ください

教育活動へのご支援ご協力ありがとうございました

本年度の1学期は、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、様々な活動を少しずつ再開していきました。PTA総会、交通安全教室、授業参観、郡小教研教科部会（6年研究授業）、県小学校体操発表会、学びのかけ橋公開授業（4年）、AED講習（6年）、郡小学校水泳能力検定会…。どの行事も久しぶりに行ったため、戸惑いも多かったように思います。これまでの2年間、新型コロナにより大きな影響があったことを再確認しました。中止や延期になった行事、リモートでの児童朝会や集会活動。子供たちにとってはストレスのたまる学校生活は続いています。その間、保護者の皆様には日々の健康チェックをはじめ様々な面でご協力いただきました。1学期を無事終えることができました。心より感謝申し上げます。

さて、明日から42日間という長い夏休みが始まります。お子様が、ご家族の皆様とともに、有意義で安全な夏休みを過ごしてほしいと願っています。コロナウイルス感染症もまだまだ安心できない状況にあります。引き続き感染症予防にお気をつけいただきますとともに、水の事故や熱中症の予防についても確認していただければと思います。子供たちにとって思い出に残る夏休みになることを祈っています。

本日の終業式では、次のような話をしました。

皆さんにとって、どのような1学期でしたか？

私は、朝、校門で皆さんとの元気な挨拶で学校生活がスタートします。また、各学年の教室を回り、皆さんが頑張っている姿や仲良く楽しく過ごしている様子を見ます。ひまわり迷路と一緒に楽しんだり、水泳の学習を一緒にしたりもしました。私にはとても楽しい1学期でした。

私は、始業式で、今年の浦庄小学校の目標について話しました。

特に、校訓の副題「～休まず 心をこめ 力をあわせて やりとげよう～」にこめられた思いとともに、「人の話をしっかり聴いて温かい学級・学校をつくってほしい」ということを伝えました。1年生から6年生まで、友達や先生の話をよく聴いて生活している人がほとんどですが、中には、お話が十分聴けなかったり、自分の意見をしっかりと発表することができなかったりした人もいたように思います。1学期の自分をしっかりと振り返り、うまくできなかったところは、2学期に頑張らしましょう。

さて、明日から夏休みです。42日間という、長い休みです。充実した休みになるよう私から次のことをお願いします。それは、「自分もまわりの人もみんなが幸せな社会をつくっていくために、自分にできることを進んでしよう」です。

先日、教員の勉強会で「ウェルビーイング (Well-being)」という言葉について学びました。「ウェルビーイング」とは、変化の激しいこれからの社会を生きていく子供たちに求められる考え方です。「一人一人が幸せであるとともに、社会のみんな（自分も、お家の人、学校のお友達も、地域の人、徳島県の人、日本全体・世界全体の人々も）も幸せであること。そして、皆さん一人一人が、自分もまわりのみんなも幸せな社会をつくっていくために、自分から進んで学んでいくこと」が大切だそうです。言い換えると「わたしのしあわせ から わたしたちのしあわせ へ」となるでしょうか。

夏休みには、この「ウエルビーイング」の考え方を意識してみてください。自分自身が楽しく安全にすごすだけでなく、自分の行動がおうちの人やまわりの人の幸せにつながっているかを考えて生活してみましょう。少し例をあげて考えてみます。

まず、「自分だけが幸せならよい」という考え方はどうでしょう。みんながそのような考えで行動すると他の人はとても困ったり、迷惑したりして生活しづらくなりますね。みんなの幸せにはなりません。

では、「早寝、早起きをする」で考えてみるとどうでしょう。

- 「自分で早寝早起きができる」 → 「自分が元気に生活できる」
- 「おうちの人、仕事前の忙しい時間にゆとりができる」
- 「安全に仕事に行くことができる 仕事がはかどる」
- 「社会全体のいろんな仕事がしっかりとできる」 → 「みんなの幸せに近づく」

「自分で計画的に夏休みの課題をする」ならどうでしょう。

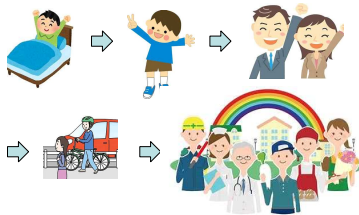
- 「早め早めに課題を仕上げていく」 → 「自分の力がのびる」「勉強が楽しくなる」
- 「自分もおうちの人も安心して過ごせる」「時間にゆとりができ、家族の時間が増える」
- 「旅行やお出かけができる」（自分も家族も楽しい）
- 「旅行先やお出かけ先の仕事が活発になる」 → 「みんなの幸せにつながる」

※省略して話しているの、かなり無理がありますが・・・

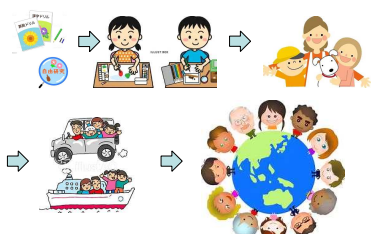
「早寝、早起きをする」、「早め早めに課題を仕上げていく」、当たり前のようなことですが、実は、実行に移すことは難しいかもしれません。これらの例の他にも自分で考え、自分で取り組むことが皆さんの力を伸ばすことにつながります。

夏休みは、自分で考えて学習したり、行動したりする絶好の機会です。いろんなことに挑戦し、ぜひ自分で自分の「楽しみ」や「喜び」、「幸せ」をつかみ取る力をつけてほしいと思います。いい夏休みを過ごしてください。9月1日に元気で会いましょう。

（れい）はやね はやおき



（れい）夏休みのかだい



ウエルビーイング

わたしのしあわせ から
わたしたちみんなのしあわせ へ



自分からすすんで行動

○タブレットPCの活用について

夏休み期間中、タブレットPCを子供たちに持ち帰らせますので、自主学习等にご活用ください。次のような活用例が考えられます。

「e-ライブラリ」…各教科、単元毎にドリル問題や解説教材・課題などが利用できます。自分で問題を解くことで、1学期の内容や前学年までの内容の復習ができます。

「キーボー島」…ゲーム形式で繰り返し練習することで、キーボード入力の技能が向上します。

「NHK for School」…学年の学習に関連した動画がたくさんあります。視聴することで、学習内容の復習や、興味のある内容を自分で楽しく学ぶことができます。

「メタモジクラスルーム」…文字入力や描画等の機能を使って、文書作成の練習ができます。

○新型コロナウイルス感染症の防止対策について

新型コロナウイルスの感染が急速に拡大し、感染防止対策の更なる徹底が求められています。ご家庭でも引き続き感染対策をよろしくお願いいたします。夏休み中の行事や活動についても急に変更しなくてはならないかもしれません。その場合、ラインネットやホームページなどでお知らせいたします。ご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。